

第1回 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議 議事要旨

日時：令和5年6月8日（木）15:00～17:00

場所：(株)リクルート GINZA 8ビル 11階ホール（オンライン併用）

出席者（敬称略）：

筑波大学 名誉教授 石田 東生

公益社団法人日本観光振興協会総合研究所 顧問 丁野 朗

(株)リクルート 地域創造部 部長 高橋 佑司

(株)三菱総合研究所 主席研究員 宮崎 俊哉

実業家 ルース・マリー・ジャーマン

特定非営利活動法人全国街道交流会議 専務理事 古賀 方子

足立成和信用金庫 理事長 土屋 武司

一般社団法人関東広域観光機構 専務理事 小堀 明夫

一般社団法人日本ウオーキング協会 事業統括専務理事 井上 成美

関東運輸局 局長 新田 慎二

関東運輸局観光部 部長 岡村 清二

議事：

- (1) 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議の設置について
- (2) これまでの取組について
- (3) 江戸街道プロジェクト推進ビジョン2023及び今後の展開について
- (4) その他

議事要旨：

- (1) 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議の設置について

- ・異議なし
- ・座長に石田委員を推薦、承認。

- (2) これまでの取組について

関東運輸局より、昨年度実施した取組概要について説明

- (3) 江戸街道プロジェクト推進ビジョン2023及び今後の展開について

関東運輸局より、江戸街道プロジェクト推進ビジョン2023及び今後の展開（今年度実施予定事業）について説明。

(各委員からの意見)

【江戸街道プロジェクト全般に関するご意見】

- ・ 出口戦略について、街道である以上は線になっている必要がある。宿場町など、色んな取組をされている。役割を線にしてあげていくことが必要ではないか。例えば、同じテーマでやっているところの成功事例を1つのプラットフォームに集めるなど。
- ・ KPI や KGI など、何を目指すかゴールを決めた方がよい。

【実証事業(江戸街道アプリ(仮称)開発)に関するご意見】

- ・ インバウンド向けならば、Visit Japan Web のような、必ずアクセスするようなものと連携、更に江戸街道ポータルをつくといった工夫をしなければならない。世の中で使われている様々なサイトと、どう連携できるかが大事。
- ・ 今年度の実証実験で、どこでやるか、ストーリー性をもった街道と宿場の繋がりをどこで具体的に考えていくかとも絡むので、慎重かつ真剣に考える必要がある。関東広域全部では無理だが、176 の調査結果もあるので、ビジネスとしてうまく展開していく地域づくり、来られる方に魅力的なストーリーができるか。それが地域、事業者を巻き込みながら持続化できるか。
- ・ 新規のアプリ開発をするとのことだが、既存アプリの高度活用のため何ができるかを考えることも大事。

【プラットフォーム制作に関するご意見】

- ・ 何よりも大事なことは、誰がプレーヤーなのか。やはり地域の人から動くから、地域の人に火がつかないと事業が進んでいかない。そういう地域を増やしていくためのプラットフォームでもある。
- ・ プラットフォームには2種類ある。1つ目はデータプラットフォームで、色んな情報が集まってくるイメージ。2つ目は人と人の集まるプラットフォーム、或いは事業する人が集まるプラットフォーム。

【江戸料理に関するご意見】

- ・ 食は切り口として面白いし、広がりがあるので各地域も扱いやすい。今迄の一都十県プロジェクト、176 の調査結果の中でもそういう取組が既にあるのかも探り、その事例も紹介できるといい。民間参画が大事なポイントである。
- ・ 私達ができるところでいうと、江戸料理の定義を決めて頂いて、街道の宿泊施設さんでご提供頂けませんか、宿泊施設さんに情報を投げることなどができる。

【ポスター案に関するご意見】

- ・ 旅行客目線のポスターになってしまっている。地元の人、自治体含めた人達にもうけるような目線を考えてポスターに落とし込んでいく必要がある。
- ・ ポスターは、ストーリー、江戸の価値、何を体験して欲しい、何が嬉しいのか、メッセージが薄い。メッセージは、ビジョンやゴールに繋がる話なので重要。

以上